

～多職種の皆さまへ！知って得するイベントへのお誘い～

このたび、第18回学術大会では、在宅療養支援における多職種連携をテーマにしたセッションを企画しております。皆さまと一緒に学び、語り合い、これからの地域医療・ケアをより良くしていく機会となれば幸いです。

ぜひ、ご参加をご検討ください。

【セッション①】

多職種による事例検討会「見え検」

日時：7月20日(日)15:50～18:00

在宅療養支援の中で直面する困難事例を題材に、当事者の「思い」や「強み」に着目しながら、参加者全員で課題を共有し、解決の糸口を探ります。

4 チームに分かれて「見え検マップ」を用い、連携の深化を図る対話型のプログラムです。ファシリテーションの魅力や、他職種と考えを交わす面白さをぜひ体感してください。

【セッション②】

シンポジウム：食・支援・家族から学ぶ認知症ケア

日時：7月21日(月)12:10～15:30(途中休憩あり)

ベテラン歯科医による「食から見た認知症ケア」の講演に続き、

・認知症サポーター研修

・「認知症の人と家族の会」の活動紹介

を通じて、「食」「支援」「家族」の3つの視点から認知症ケアを深めるシンポジウムです。

3時間の全プログラム参加者には受講修了証を、サポーター研修参加者にはオレンジリングをお渡しいたします。

多職種連携のセッションへ、医療・介護・地域支援に携わるすべての皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。尚ランチは事前申込またはご持参ください。